

警察署統合の成果

阿波吉野川警察署・美馬警察署

西部4警察署(吉野川、阿波、美馬、つるぎ各警察署)統合の成果を検証しました。

～「安全安心を誇れる徳島県の実現」に向けた県警察の取り組み～ 徳島県警察本部

新たな組織体制の構築

～管理部門の警察官を削減し、現場活動に振り向けました～

阿波吉野川署 美馬署

管理部門(課長以上)	8人(-4人)	8人(-4人)
係長以下	73人(+2人)	57人(±0人)
合計	81人(-2人)	65人(-4人)
本部執行隊	機動捜査隊 +6人	広域自動車警ら隊 +6人



交番・駐在所は現状のまま維持

地域に密着する地域警察活動については、引き続き、交番・駐在所を維持したほか、分庁舎には、副署長級の管理職員を始め、緊急事案に対応するための交通警察官や24時間体制の警察官を配置しました。

夜間等の当直体制の強化(当直員の増強)

夜間・休日の当直員を倍増し、各種事案への対応を強化しました。

警ら用パトカーの複数運用・・・etc

警ら用パトカーを複数台運用するほか、分庁舎には「機動捜査隊」や「広域自動車警ら隊」を24時間体制で配置し、捜査力を強化しました。

行政サービス機能の維持

各庁舎に運転免許更新事務、各種相談担当者等を配置し、行政サービス機能を維持しました。

統合の成果

～統合による相乗効果～

街頭活動の強化・レスポンスタイムの短縮

刑法犯認知件数	交通事故発生件数
阿波吉野川署 -27.2%	阿波吉野川署 -11.7%
美馬署 -33.7%	美馬署 -26.7%
レスポンスタイム	
阿波吉野川署 -5秒	
美馬署 -14秒	

県警察の評価

～捜査力の強化～
～事件・事故への迅速・的確な対応～
～見える活動の強化～

捜査員の集中的・機能的運用

刑法犯検挙率

阿波吉野川署	79.3%(+45.8p)
美馬署	98.0%(+32.4p)

重要事件等の検挙

強盗致傷事件の検挙(阿波吉野川署)
連続強盗事件の検挙(阿波吉野川署)
大規模耕地面積の検挙(美馬署) etc.

地域警察官の警ら時間

阿波吉野川署	+1563時間
美馬署	+765時間

地域警察官の巡回連絡時間

阿波吉野川署	+215時間
美馬署	+164時間

(平成26年4-12月を前年同期比で対比)